



コスモ・スワール うすだ

一人一人が輝き つながり 未来を拓く

一脚の椅子と、つながれていく背中

体育館の扉を開けると、そこには本番前の静けさと、準備に奔走する子どもたちの熱気が混ざり合った独特の空気が流れていました。先日行われた「6年生を送る会」。

この会は、児童会として6年生の卒業と進学を祝う場であると同時に、学校のリーダーとしての役割を次代へと引き継ぐ、一つの「別れの儀」でもあります。新しく児童会を引き継いだ5年生が、去りゆく6年生のために知恵を絞り、汗をかく。その姿こそが、儀式そのもののように私には感じられました。

ふと見ると、会場の端でパイプ椅子が数脚足りないようでした。私がステージ袖へ向かい、一脚の椅子を手を取った、その時です。

「教頭先生、あと何脚必要ですか？」

後ろから声をかけてきたのは、数人の5年生たちでした。「3脚くらいかな」と答える私から、彼らは当然のように椅子を受け取りました。ある子は私の手から自然にそれを引き継ぎ、またある子は残りの椅子を運ぼうと、すでに次の動きへと体を向けている。その、淀みのない動き。

私はその場に立ち尽くし、彼らの背中をしばらく見つめてしまいました。一年前、まだ幼さの残っていた彼らの背中が、今はこんなにも頼もしく、確かな重みを持ってそこに在る。その事実、胸が熱くなるのを覚えたのです。

彼らが運んでいたのは、単なる鉄の椅子ではありませんでした。それは、「自分たちがこれからの学校を支えていくのだ」という自覚であり、これまで自分たちを導いてくれた6年生への、言葉にならない敬意の形だったのではないかと感じずにはいられませんでした。

学校という場所は、不思議なところ。教科書の知識を覚えるだけでなく、こうして誰かの「背中」を見て、その振る舞いや願いを、身体感覚として受け継いでいく。6年生がこれまで見せてきた「学校を創る姿」が、今、5年生という新しい土壌にしっかりと根を張り、芽吹いている。その命の連鎖のような営みが、この体育館の至る所で見受けられました。

「6年生に安心して卒業してほしい」

「渡されたバトンを、私たちは大切に守り伝えていきます」

そんな声なき声が、きびきびと動く彼らの足音から聞こえてくるようでした。見えないところで準備に励む彼らの姿こそが、何よりの「送る言葉」になっていました。



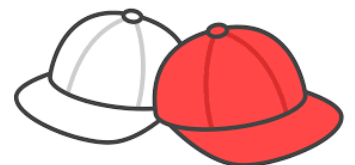
規範意識

二時間目終了のチャイムとともに、校舎が活気に包まれます。その喧騒の中、私の足を止めさせた光景がありました。低学年の男の子が、駆け出そうとする友だちに声を上げたのです。「あっ、赤白帽子忘れたから、先に行っててえ〜」。すると、数歩先にいた友だちが、立ち止まって返しました。「分かったあ〜」

本校では外遊びの際、帽子を被る約束があります。私がいいなあと思ったのは、単に「約束が守られた」こと以上に、そのやり取りの中にあつた「互いの正しさを認め合う姿」でした。

一刻も早く遊びたい衝動を抑え、引き返そうとする子の誠実さ。そして、その姿を「いいじゃん、そんなの」と流さず、当然のこととして受け止めた子の優しさ。そこには、約束の価値を共有する者同士の信頼がありました。

こうした規範意識は、大人の説話だけで育つものではありません。自分の規範意識を分かってもらえた、相手のそれを自分も受け入れた。そんな他者との関係性の中でこそ、規範意識は血の通ったものへと醸成されます。この小さな「分かったあ」という響き合いこそ、学校という場所が育むかけがえのない宝物です。



先生方 お世話になりました

臼田小学校の光の中で、18名の教職員とのお別れの日を迎えました。在任期間はそれぞれですが、子どもたちの姿に心動かされ、共に呼吸を合わせた時間は、何物にも代えがたい幸福な歳月でした。学校とは、大人が子を教えるだけでなく、子どもの純粋な生命力に大人が育てられる場所でもあります。ここで受け取った温かな記憶を胸に、新天地へ歩み出す先生方の前途が、光に満ちたものであることを切に願っています。

校長室から

皆さんはこの一年間で、203日登校したことになります。元気に登校してくれてありがとう。一学期の始業式で、この一年間大事にしてほしい3つのことをお話しました。覚えていますか。それは臼田小学校の学校教育目標です。

「一人一人が輝き」は・・・皆さん一人一人の持ち味とやる気が星のように輝くこと。そのために自分から知りたい、できるようになりたいと強く願い、取り組むことです。

「つながり」は・・・人は一人では生きていけません。お互いに「〇〇さんがいてくれてよかった」と思える心が温くなる関係をつくることです。自分の考えを言い合うこともつながりです。

「未来を拓く」は・・・学ぶことの答えは未来にあると考えます。自分の人生を豊かにし、これから自分が出会う全ての人を幸せにするために学び続けます。体と心を鍛え、弱い自分に打ち勝つたくましさを持つことも大切です。

自分自身のことをしばらくの間振り返ってみましょう。

それぞれの自分の思いを重ねて、多くのことができるようになったと思います。

今日で皆さんは令和7年度の臼田小学校での学びが、修了となります。春休みの間にもう一度、自分の成長を振り返ってみてください。

1年生～5年生の皆さんはちょっとお兄さんお姉さんになって4月に元気に登校してください。この3月で転校するお友だちがいます。転校する皆さんも新しい学校でも友だちを作り、多くを学んでください。

さて、来週月曜日は卒業式を迎えます。6年生は、最高学年、学校の「顔」として、臼田小学校において児童会や行事でリーダーシップを発揮してくれました。運動会の凜々しい姿と優しい眼差し、そして、音楽会の息の合った歌声や演奏は今も校長先生の記憶に残っています。卒業おめでとう。

1年生から4年生までのお友だちは卒業式に参加することができませんが、おうちで6年生の卒業を祝ってください。

5年生は16日の卒業式、在校生の代表として6年生を送り出してください。よろしくお祈りします。

6年生は、晴れやかな笑顔で小学校生活最後の登校をしてください。そして、これまでの成長に自信を持って歩み出してほしいと願っています。ありがとう。そして、卒業おめでとう。

今年度も、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様の温かい励まし、そして地域の皆様の見守りがあったからこそ、子どもたちは安心して日々の学習や行事に打ち込むことができました。来年度も、地域に愛される学校づくりに邁進してまいります。春休み中も、子どもたちが安全に過ごせますよう、引き続きよろしくお祈りいたします。1年間ありがとうございました。